

都市部官民境界基本調査 積算基準（案）

作業歩掛表

都市部官民境界基本調査（電子基準点のみを与点とした場合）

調査の区分	都市部官民境界基本三角測量(TC)					縮 尺					1/250~1/500					
標準作業量	1km ² 新点 3点 (整合点検1点) GNSSアンテナタワーなし					作業条件					平坦地					
工 程	内外業別	直接人件費														
		編 成 (A)					所要日数 (B)					歩 掛 (C) = (A) × (B)				
		主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員
工程管理	内	1	1			1.0	1.0				1.0	1.0				2.0
計 画	内	1	1	1	1	0.3	0.3	0.5	0.5		0.3	0.3	0.5	0.5		1.6
踏査・選点	外		1	1		1	1.3	1.3		1.2		1.3	1.3		1.2	3.8
伐 採	外		1	1		2	0.5	0.5		0.5		0.5	0.5		1.0	2.0
埋 設	外		1	1		2	1.8	1.8		1.8		1.8	1.8		3.6	7.2
観 測	外		1	3		3	0.7	0.7		0.7		0.7	2.1		2.1	4.9
計算整理	内	1	1	1	1	0.3	0.7	1.0	0.8		0.3	0.7	1.0	0.8		2.8
内 業											1.6	2.0	1.5	1.3		6.4
外 業												4.3	5.7		7.9	17.9
計											1.6	6.3	7.2	1.3	7.9	24.3

需用費(材料費)の構成				
品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
プラスチック杭	9cm×9cm×70cm	本	3	
又は				
金属標	φ75×90mm	本	3	
ガソリン		ℓ	30	2.6ℓ×11.4h
雑品費		式	1	所要材料費の0.5%以内

機械経費の構成				
品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
GNSS測量機	1級	台日	2.1	
トータルステーション	2級	〃	1.3	
ライトバン	1.5L	〃	5.7	供用日損料
〃	〃	台時	11.4	運行時間損料
雑器具費		式	1.0	(直接人件費+機械の損料+需用費(材料費))の0.5%以内

各費目に対する対象金額の割合			
費 目	単 位	数 量	備 考
需用費(材料費)	%	3.5	普通作業員を除く直接人件費の3.5%
機械経費	%	7.5	普通作業員を除く直接人件費の7.5%
需用費(消耗品費等)	%	5.0	直接作業費の5.0%

作業歩掛表

都市部官民境界基本調査（電子基準点のみを与点とした場合）

調査の区分	都市部官民境界基本三角測量(TC)					縮 尺					1/250~1/500						
標準作業量	1km ² 新点 4点 (整合点検なし) GNSSアンテナタワーなし					作業条件					平坦地						
工 程	内外業別	直接人件費															
		編 成 (A)					所要日数 (B)					歩 掛 (C) = (A) × (B)					
		主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	計
工程管理	内	1	1			1.3	1.3				1.3	1.3				2.6	
計画	内	1	1	1	1	0.3	0.3	0.5	0.5		0.3	0.3	0.5	0.5		1.6	
踏査・選点	外		1	1		1		1.6	1.6			1.6	1.6			1.4	
伐採	外		1	1		2		0.5	0.5			0.5	0.5			1.0	
埋設	外		1	1		2		2.3	2.3			2.3	2.3			4.6	
観測	外		1	3		3		0.7	0.7			0.7	2.1			2.1	
計算整理	内	1	1	1	1		0.4	0.9	1.3	1.0		0.4	0.9	1.3	1.0		
内 業											2.0	2.5	1.8	1.5		7.8	
外 業												5.1	6.5			9.1	20.7
計											2.0	7.6	8.3	1.5	9.1	28.5	

需用費(材料費)の構成				
品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
プラスチック杭	9cm×9cm×70cm	本	4	
又は				
金属標	φ75×90mm	本	4	
ガソリン		リットル	34	2.6リットル×13.0h
雑品費		式	1	所要材料費の0.5%以内

機械経費の構成				
品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
GNSS測量機	1級	台日	2.1	
トータルステーション	2級	〃	1.4	
ライトバン	1.5L	〃	6.5	供用日損料
〃	〃	台時	13.0	運行時間損料
雑器具費		式	1.0	(直接人件費+機械の損料+需用費(材料費))の0.5%以内

各費目に対する対象金額の割合			
費 目	単 位	数 量	備 考
需用費(材料費)	%	4.0	普通作業員を除く直接人件費の4.0%
機械経費	%	6.5	普通作業員を除く直接人件費の6.5%
需用費(消耗品費等)	%	5.0	直接作業費の5.0%

作業歩掛表
都市部官民境界基本調査

調査の区分	都市部官民境界基本多角測量(TD)					縮 尺					1/250~1/500					
標準作業量	1km ² 152点					作業条件					平坦地、農I、不整形地					
工 程	内外業別	直接人件費														
		編 成 (A)					所要日数 (B)					歩 掛 (C) = (A) × (B)				
		主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員
工程管理	内	1	1			0.7	1.4				0.7	1.4				2.1
計画	内	1	1	1		0.4	0.4	0.4			0.4	0.4	0.4			1.2
選点	外		1	1	1		2.4	2.4	2.4			2.4	2.4	2.4		7.2
埋石	外				1	1			4.1	4.1				4.1	4.1	8.2
観測	外		1	1	2		3.9	3.9	3.9			3.9	3.9	7.8		15.6
計算整理	内	1	1	1	1	1.7	1.7	1.7	1.7		1.7	1.7	1.7	1.7		6.8
点検	内		1	1	2		1.9	1.9	0.4			1.9	1.9	0.8		4.6
内 業											2.8	5.4	4.0	2.5		14.7
外 業												6.3	6.3	14.3	4.1	31.0
計											2.8	11.7	10.3	16.8	4.1	45.7

需用費(材料費)の構成				
品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
プラスチック杭	4.5cm×4.5cm×45cm	本	152	
又は				
金属標	φ50×70mm	本	152	
ガソリン		リットル	16	2.6リットル×12.6h
雑品費		式	1	所要材料費の0.5%以内

機械経費の構成				
品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
GNSS測量機	2級	台日	18.9	
トータルステーション	2級	〃	6.3	技師補の外業日数
パーソナルコンピュータ		〃	6.3	
ライトバン	1.5L	〃	6.3	供用日損料
〃	〃	台時	12.6	運行時間損料
雑器具費		式	1	(直接人件費+機械の損料+需用費(材料費))の0.5%以内

各費目に対する対象金額の割合			
費 目	単 位	数 量	備 考
需用費(材料費)	%	45.0	普通作業員を除く直接人件費の45.0%
機械経費	%	3.5	普通作業員を除く直接人件費の3.5%
需用費(消耗品費等)	%	5.0	直接作業費の5.0%

キネマティック法及びRTK法で実施する場合は、2級GNSS測量機の数量を次のように変更する。(18.9→12.6)
ネットワーク型RTK法で実施する場合は、2級GNSS測量機の数量を次のように変更する。(18.9→6.3)

作業歩掛表
都市部官民境界基本調査

調査の区分	現地調査(TE)・標準					縮 尺					1/250~1/500						
標準作業量	1 km ² 1,000筆					作業条件					標準						
工 程	内外業別	直接人件費															
		編 成 (A)					所要日数 (B)					歩 掛 (C) = (A) × (B)					
		主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	計
計 画	内	1				0.2					0.2					0.2	
現地調査図等作成	内		1	1	1		3.2	3.2	13.0			3.2	3.2	13.0		19.4	
関連資料収集等	内		1	1	1		1.1	2.2	2.2			1.1	2.2	2.2		5.5	
内 業											0.2	4.3	5.4	15.2		25.1	
外 業																	
計											0.2	4.3	5.4	15.2		25.1	

需用費(材料費)の構成				
品 名	規 格	単位	数量	備 考
計上しない				
又は				
金属鋸	9mm×43mm	本	*	* 数量は表1を参照
又は				
アルミプレート	20mm×20mm	枚	*	* 数量は表1を参照
雑品費		式	1	所要材料費の0.5%以内

各費目に対する対象金額の割合			
費 目	単位	数量	備 考
需用費(消耗品費等)	%	3.0	直接作業費の3.0%

TR工程において図上街区点への標識等の設置を行う際に、金属鋸等を設置する場合は当該工程で材料費を計上する。

作業歩掛表
都市部官民境界基本調査

調査の区分	現地調査(TE)・パターン0					縮 尺	1/250~1/500									
標準作業量	1km ² 1,000筆					作業条件	標準+要約書及び測量図収集・所有者一覧作成									
工 程	内外業別	直接人件費														
		編 成 (A)					所要日数 (B)					歩 掛 (C) = (A) × (B)				
		主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員
計 画	内	1				0.2					0.2					0.2
現地調査図等作成	内		1	1	1		3.2	3.2	13.0			3.2	3.2	13.0		19.4
関連資料収集等	内		1	1	1		2.5	5.0	5.0			2.5	5.0	5.0		12.5
内 業											0.2	5.7	8.2	18.0		32.1
外 業																
計											0.2	5.7	8.2	18.0		32.1

需用費(材料費)の構成				
品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
計上しない				
又は				
金属鋸	9mm×43mm	本	*	* 数量は表1を参照
又は				
アルミプレート	20mm×20mm	枚	*	* 数量は表1を参照
雑品費		式	1	所要材料費の0.5%以内

各費目に対する対象金額の割合			
費 目	単 位	数 量	備 考
需用費 (消耗品費等)	%	3.0	直接作業費の3.0%

TR工程において図上街区点への標識等の設置を行う際に、金属鋸等を設置する場合は当該工程で材料費を計上する。

作業歩掛表
都市部官民境界基本調査

調査の区分	現地調査(TE)・パターン2					縮 尺					1/250~1/500						
標準作業量	1 km ² 1,000筆					作業条件					パターン1+境界調査票作成						
工 程	内外業別	直接人件費															
		編 成 (A)					所要日数 (B)					歩 掛 (C) = (A) × (B)					
		主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	計
計 画	内	1				0.2					0.2					0.2	
現地調査図等作成	内		1	1	1		6.5	6.5	26.0			6.5	6.5	26.0		39.0	
関連資料収集等	内		1	1	1		3.6	7.2	7.2			3.6	7.2	7.2		18.0	
内 業											0.2	10.1	13.7	33.2		57.2	
外 業																	
計											0.2	10.1	13.7	33.2		57.2	

需用費(材料費)の構成				
品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
計上しない				
又は				
金属鋸	9mm×43mm	本	*	* 数量は表1を参照
又は				
アルミプレート	20mm×20mm	枚	*	* 数量は表1を参照
雑品費		式	1	所要材料費の0.5%以内

各費目に対する対象金額の割合			
費 目	単 位	数 量	備 考
需用費 (消耗品費等)	%	3.0	直接作業費の3.0%

TR工程において図上街区点への標識等の設置を行う際に、金属鋸等を設置する場合は当該工程で材料費を計上する。

作業歩掛表 都市部官民境界基本調査

調査の区分	現地調査(TE)・パターン3	縮 尺	1/250~1/500													
標準作業量	1km ² 1,000筆	作業条件	パターン2+現地立会説明													
工 程	内外業別	直接人件費														
		編 成 (A)					所要日数 (B)					歩 掛 (C) = (A) × (B)				
		主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員
計 画	内	1				0.2					0.2					0.2
現地調査図等作成	内		1	1	1		6.5	6.5	26.0			6.5	6.5	26.0		39.0
関連資料収集等	内		1	1	1		3.6	7.2	7.2			3.6	7.2	7.2		18.0
現地立会説明	外			1	1				5.0	5.0			5.0	5.0		10.0
		内 業									0.2	10.1	13.7	33.2		57.2
		外 業											5.0	5.0		10.0
		計									0.2	10.1	18.7	38.2		67.2

需用費(材料費)の構成				
品名	規格	単位	数量	備 考
計上しない				
又は				
金属鋸	9mm×43mm	本	*	* 数量は表1を参照
又は				
アルミプレート	20mm×20mm	枚	*	* 数量は表1を参照
雑品費		式	1	所要材料費の0.5%以内

各費目に対する対象金額の割合			
費 目	単位	数量	備 考
需用費(消耗品費等)	%	3.0	直接作業費の3.0%

TR工程において図上街区点への標識等の設置を行う際に、金属鋸等を設置する場合は当該工程で材料費を計上する。

作業歩掛表
都市部官民境界基本調査

調査の区分	都市部官民境界基本細部測量(TF)										縮 尺		1 / 2 5 0			
標準作業量	1 km ² 746点										作業条件		平坦地、農 I、不整形地、街区係数 X=0.6			
工 程	内外業別	直接人件費														
		編 成 (A)					所要日数 (B)					歩 掛 ((C) = (A) × (B))				
		主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員
工程管理	内	1	1			0.4	1.6				0.4	1.6				2.0
計画	内	1	1			0.2	0.2				0.2	0.2				0.4
選点	外		1	1	1		6.1	6.1	6.1			6.1	6.1	6.1		18.3
埋石	外				1	1			5.3	5.3				5.3	5.3	10.6
観測	外		1	1	2	1		2.3	12.4	12.4	12.4		2.3	12.4	24.8	51.9
計算	内	1	1	1	1		6.8	6.8	6.8	6.8		6.8	6.8	6.8		20.4
点検	内		1	1	2		6.8	6.8	0.5			6.8	6.8	1.0		14.6
内 業											7.4	15.4	13.6	7.8		44.2
外 業												8.4	18.5	36.2	17.7	80.8
計											7.4	23.8	32.1	44.0	17.7	125.0

需用費(材料費)の構成				
品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
金属紙	φ15×55mm	本	746	
ガソリン		リットル	96	2.6リットル×37.0h
雑品費		式	1	所要材料費の0.5%以内

機械経費の構成				
品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
GNSS測量機	2級	台日	37.2	
又は				
トータルステーション	3級	台日	12.4	技師補の外業日数
パーソナルコンピュータ		台時	12.4	
ライトバン	1.5L	台日	18.5	供用日損料
〃	〃	台時	37.0	運行時間損料
雑器具費		式	1	(直接人件費+機械の損料+需用費(材料費))の0.5%以内

各費目に対する対象金額の割合			
費 目	単 位	数 量	備 考
需用費(材料費)	%	1.5	普通作業員を除く直接人件費の1.5%
機械経費	%	2.5	普通作業員を除く直接人件費の2.5%
需用費(消耗品費等)	%	5.0	直接作業費の5.0%

街区係数Xにより歩掛及び基本細部点数は補正済のため、補正係数にXは計上しない。
 キネマティック法及びRTK法で実施する場合は、2級GNSS測量機の数量を次のように変更する。(37.2→24.8)
 ネットワーク型RTK法で実施する場合は、2級GNSS測量機の数量を次のように変更する。(37.2→12.4)

作業歩掛表
都市部官民境界基本調査

調査の区分	都市部官民境界基本細部測量(TF)					縮 尺					1 / 5 0 0					
標準作業量	1 km ² 146点					作業条件					平坦地、農 I、不整形地、街区係数 X=0.6					
工 程	内外業別	直接人件費														
		編 成 (A)					所要日数 (B)					歩 掛 ((C) = (A) × (B))				
		主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員	主任技師	技師	技師補	助手	普通作業員
工程管理	内	1	1			0.2	0.3				0.2	0.3				0.5
計 画	内	1	1			0.1	0.1				0.1	0.1				0.2
選 点	外		1	1	1			2.0	2.0	2.0		2.0	2.0	2.0		6.0
埋 石	外				1	1				1.7	1.7			1.7	1.7	3.4
観 測	外		1	1	2	1		0.9	3.7	3.7	3.7		0.9	3.7	7.4	15.7
計 算	内	1	1	1	1	1.2	1.3	1.3	1.2		1.2	1.3	1.3	1.2		5.0
点 検	内		1	1	2			1.3	1.3	0.1		1.3	1.3	0.2		2.8
内 業											1.5	3.0	2.6	1.4		8.5
外 業												2.9	5.7	11.1	5.4	25.1
計											1.5	5.9	8.3	12.5	5.4	33.6

需用費(材料費)の構成				
品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
金属紙	φ15×55mm	本	146	
ガソリン		リットル	30	2.6リットル×11.4h
雑品費		式	1	所要材料費の0.5%以内

機械経費の構成				
品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
GNSS測量機	2級	台日	11.1	
又は				
トータルステーション	3級	台日	3.7	技師補の外業日数
パーソナルコンピュータ		台時	3.7	
ライトバン	1.5L	台日	5.7	供用日損料
〃	〃	台時	11.4	運行時間損料
雑器具費		式	1	(直接人件費+機械の損料+需用費(材料費))の0.5%以内

各費目に対する対象金額の割合			
費 目	単 位	数 量	備 考
需用費(材料費)	%	1.5	普通作業員を除く直接人件費の1.5%
機械経費	%	2.5	普通作業員を除く直接人件費の2.5%
需用費(消耗品費等)	%	5.0	直接作業費の5.0%

街区係数Xにより歩掛及び基本細部点数は補正済のため、補正係数にXは計上しない。
 キネマティック法及びRTK法で実施する場合は、2級GNSS測量機の数量を次のように変更する。(11.1→7.4)
 ネットワーク型RTK法で実施する場合は、2級GNSS測量機の数量を次のように変更する。(11.1→3.7)

作業歩掛表
都市部官民境界基本調査

調査の区分	街区点測量(TL)・標準				縮 尺	1/250~1/1,000									
標準作業量	1 km ²				作業条件	平地、長狭物係数 $\iota=0.3$ 補正係数 $\omega=1.97$									
工 程	内外業別	直接人件費													
		編 成 (A)				所要日数 (B)				歩 掛 ((C) = (A) × (B))					
		技師	技師補	助手	普通作業員	技師	技師補	助手	普通作業員	技師	技師補	助手	普通作業員	計	
街区点測量	外	1	1	1	1	1.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0	2.0	7.0	
編 集	内	1	1			1.1	2.6			1.1	2.6			3.7	
計算整理	内	1	1			1.0	0.5			1.0	0.5			1.5	
		内 業								2.1	3.1			8.5	
		外 業								1.0	2.0	2.0	2.0	3.7	
		計								3.1	5.1	2.0	2.0	12.2	

需用費の構成				
品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
ガソリン		ℓ	10	2.6ℓ×4.0h
雑品費				普通作業員を除く直接人件費の2.0%

機械経費の構成				
品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
ライトバン	1.5L	台日	2.0	供用日損料
〃	〃	台時	4.0	運行時間損料
雑器具費		式	1	普通作業員を除く直接人件費の4.5%以内

各費目に対する対象金額の割合			
費 目	単 位	数 量	備 考
需用費 (材料費)	%	2.5	普通作業員を除く直接人件費の 2.5%
機械経費	%	5.5	普通作業員を除く直接人件費の 5.5%

係数 (ω) の算出は $\omega = y / 100$ $y = 486.38 \times \text{実施面積} \times \iota + 51.362$ とする。
長狭物係数 ι は30%を標準とし、調査区域全域を実施する場合 (全筆測量) は100%とする。

(例) 実施面積 1 km² ・通常の場合

$$Y = 486.38 \times 1.0 (\text{実施面積 (km}^2\text{)}) \times 0.3 (\text{狭長物 } \iota) + 51.362$$

$$\omega = 197.276 / 100$$

$$\omega = 1.97 (\text{少数第3位以下四捨五入})$$

作業歩掛表
都市部官民境界基本調査

調査の区分	街区点測量(TL)・全筆測量				縮 尺	1/250~1/1,000									
標準作業量	1 km ²				作業条件	平地、長狭物係数 $\iota=1.0$ 補正係数 $\omega=5.38$									
工 程	内外業別	直接人件費													
		編 成 (A)				所要日数 (B)				歩 掛 ((C) = (A) × (B))					
		技師	技師補	助手	普通作業員	技師	技師補	助手	普通作業員	技師	技師補	助手	普通作業員	計	
街区点測量	外	1	1	1	1	1.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0	2.0	7.0	
編 集	内	1	1			1.1	2.6			1.1	2.6			3.7	
計算整理	内	1	1			1.0	0.5			1.0	0.5			1.5	
内 業										2.1	3.1			8.5	
外 業										1.0	2.0	2.0	2.0	3.7	
計										3.1	5.1	2.0	2.0	12.2	

需用費の構成				
品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
ガソリン		ℓ	10	2.6ℓ×4.0h
雑品費				普通作業員を除く直接人件費の2.0%

機械経費の構成				
品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
ライトバン	1.5L	台日	2.0	供用日損料
〃	〃	台時	4.0	運行時間損料
雑器具費		式	1	普通作業員を除く直接人件費の4.5%以内

各費目に対する対象金額の割合			
費 目	単 位	数 量	備 考
需用費(材料費)	%	2.5	普通作業員を除く直接人件費の2.5%
機械経費	%	5.0	普通作業員を除く直接人件費の5.0%

係数(ω)の算出は $\omega = y / 100$ $y = 486.38 \times \text{実施面積} \times \iota + 51.362$ とする。

長狭物係数 ι は30%を標準とし、調査区域全域を実施する場合(全筆測量)は100%とする。

(例) 実施面積1 km²・通常の場合

$$Y = 486.38 \times 1.0 (\text{実施面積 (km}^2\text{)}) \times 1.0 (\text{狭長物 } \iota) + 51.362$$

$$\omega = 537.742 / 100$$

$$\omega = 5.38 (\text{少数第3位以下四捨五入})$$

作業歩掛表
都市部官民境界基本調査

調査の区分	復元測量(TR)・全筆実施					縮 尺					1/250~1/1,000				
標準作業量	0.1km ²					作業条件					耕地、長狭物係数 $\iota=1.0$				
工 程	内外業別	直接人件費													
		編 成 (A)				所要日数 (B)					歩 掛 (C) = (A) × (B)				
		技師	技師補	助手	普通作業員	技師	技師補	助手	普通作業員	技師	技師補	助手	普通作業員	計	
図上街区点測量	外	1	1	1	1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	16.0	
変換計算	内	1	1	1		2.0	2.0	2.0		2.0	2.0	2.0		6.0	
内 業											2.0	2.0	2.0		16.0
外 業											4.0	4.0	4.0	4.0	6.0
計											6.0	6.0	6.0	4.0	22.0

需用費の構成				
品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
ガソリン		リットル	21	2.6リットル×8.0h
雑品費				普通作業員を除く直接人件費の6.0%

機械経費の構成				
品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
ライトバン	1.5L	台日	4.0	供用日損料
〃	〃	台時	8.0	運行時間損料
雑器具費		式	1	普通作業員を除く直接人件費の3.0%以内

各費目に対する対象金額の割合			
費 目	単 位	数 量	備 考
需用費(材料費)	%	6.5	普通作業員を除く直接人件費の6.5%
機械経費	%	4.0	普通作業員を除く直接人件費の4.0%

長狭物係数 ι により歩掛は補正済のため、補正係数に ι は計上しない。

